

日能研 オン・ザ・ロード 2017 を開催いたしました。

日能研では、首都圏最大規模の「中学入試問題の意味とこれからの学習のつながりを考える」研究会、「オン・ザ・ロード 2017」を開催いたしました。その中で、3月7日（火）文京シビックホールでの会の様子についてご紹介します。

オン・ザ・ロードとは・・・

子どもたちは、様々な道の途中にいます。「中学受験への道」「高等教育への道」「未来への道」

子どもたちがこれから歩いていく未来は、私たち大人が予測できない道です。未知なる未来に向かっていく子どもたちに、「自分自身で歩み続けていく人」「自分自身で学び続けていく人」になってほしい——「オン・ザ・ロード」という言葉には、そんな成長をつくっていく子どもたちとともに歩んでいきたい、という私たちの日能研の想いをこめています。

会は、「首都圏入試情報」「キーノートスピーチ」「インタビュービデオ上映」「入試問題を素材としたパネルディスカッション」「中学入試ドキュメンタリービデオ上映」の順に進めていきました。

キーノートスピーチ

「キーノートスピーチ」では、子どもたちの未来への準備として、「いま」をどうつくっていくのか、この大きなテーマについて会場のみなさまと共有しました。

予測困難な時代。未来を見据えて、ついに国も2020年より学習指導要領改訂、大規模な教育改革に踏み出しました。個人の資質・能力を引き出す学び、一人一人が主体者となる学びを公の教育でも——。しかし、具体的に動き出すには、数多くの越えなくてはならない壁があるようです。

建学の理念に基づく私学には、常に未来に向かう、自由な学びがあります。ブレることのないその学びは、いつの時代でも、「未来への学力」「世界への学力」を育てようとしています。

今、学びを創り続けている私学へ進み、未来に向かって歩いていく子どもたち。そんな子どもたちにこれからも持ち続けてほしいチカラとして、「新しい自分を創り続けるチカラ」という言葉をお伝えしました。起きたことをふり返り、次なる一歩を自ら歩いていく。そして、私たち大人が、そのモデルになりましょう、と。

パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、「私学の想いがこめられた入試問題」をテーマに、私学の先生が入試問題にこめたメッセージや求めているチカラ、さらには、今後大切にしたい学び方についてお話していきました。「他者とともに生きる」「感覚から論理へ」「型ではなく本質を」「当たり前を疑う」など、入試問題と出会うときに使っていきたいチカラについて、様々な切り口から、4科目でつながりながら話題を展開していきました。そして最後に、今後の学び方として、何よりも問題で設定された状況に対して「当事者意識」・「主体性」を持って考えることの大切さを、会場のみなさまと共有しました。

未知なる未来に向かって、力強く歩み続けていく子どもたち。

道の途中にいる子どもたちを、保護者のみなさまとともに、日能研はこれからも応援します。

<本件に関するお問合せ先>

日能研本部 TEL : 045-473-2311 / FAX : 045-475-0544 / e-mail : pr@nichinoken.co.jp

